

# 事業計画・経営戦略①



## 耐震化の目標値

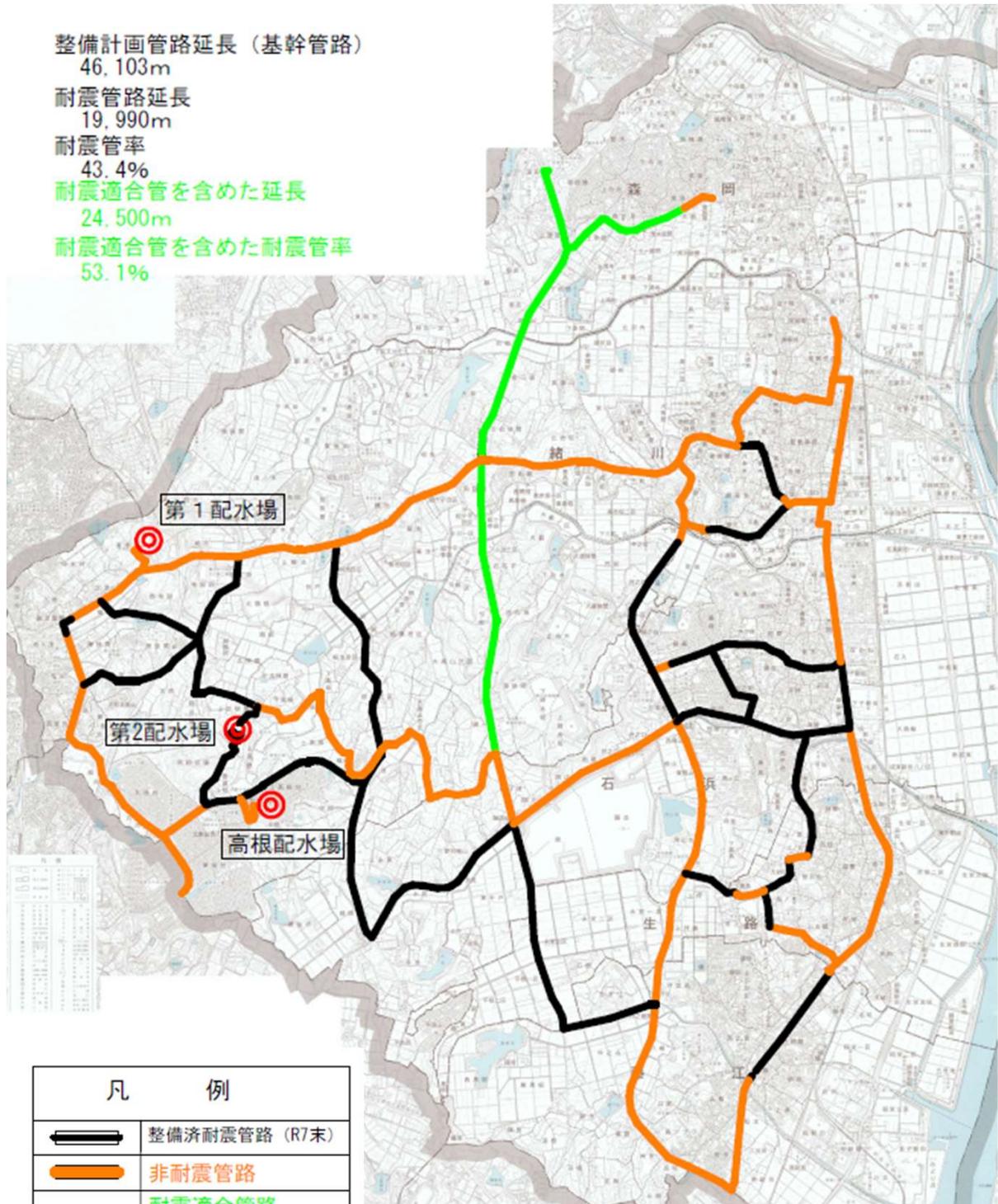
### 水道事業ビジョンにおける投資計画の目標値

指標	年度			
	当初値 2017(H29)年度	現況値 2025(R7)年度	想定値 2025(R7)年度	目標値 2029(R11)年度
基幹管路の耐震管率	31.0%	43.4%	45.0%	53.0%
重要給水施設配水管路の耐震管率	32.0%	53.6%	54.3%	67.0%

### 水道事業経営戦略における目標値 2024(R6)年度中間見直し

指標	年度		
	当初値 2017(H29)年度	目標値 2029(R11)年度	見込値 2034(R16)年度
基幹管路の耐震管率	31.0%	53.0%	59.0%
重要給水施設配水管路の耐震管率	32.0%	67.0%	76.0%

(図①)  
 令和7年度末整備計画図  
 (基幹管路)



凡 例	
	整備済耐震管路 (R7末)
	非耐震管路
	耐震適合管路 (地盤が良好で耐震性 有とみなされる管路)

(図②)  
 令和7年度末整備計画図  
 (重要給水施設配水管路)

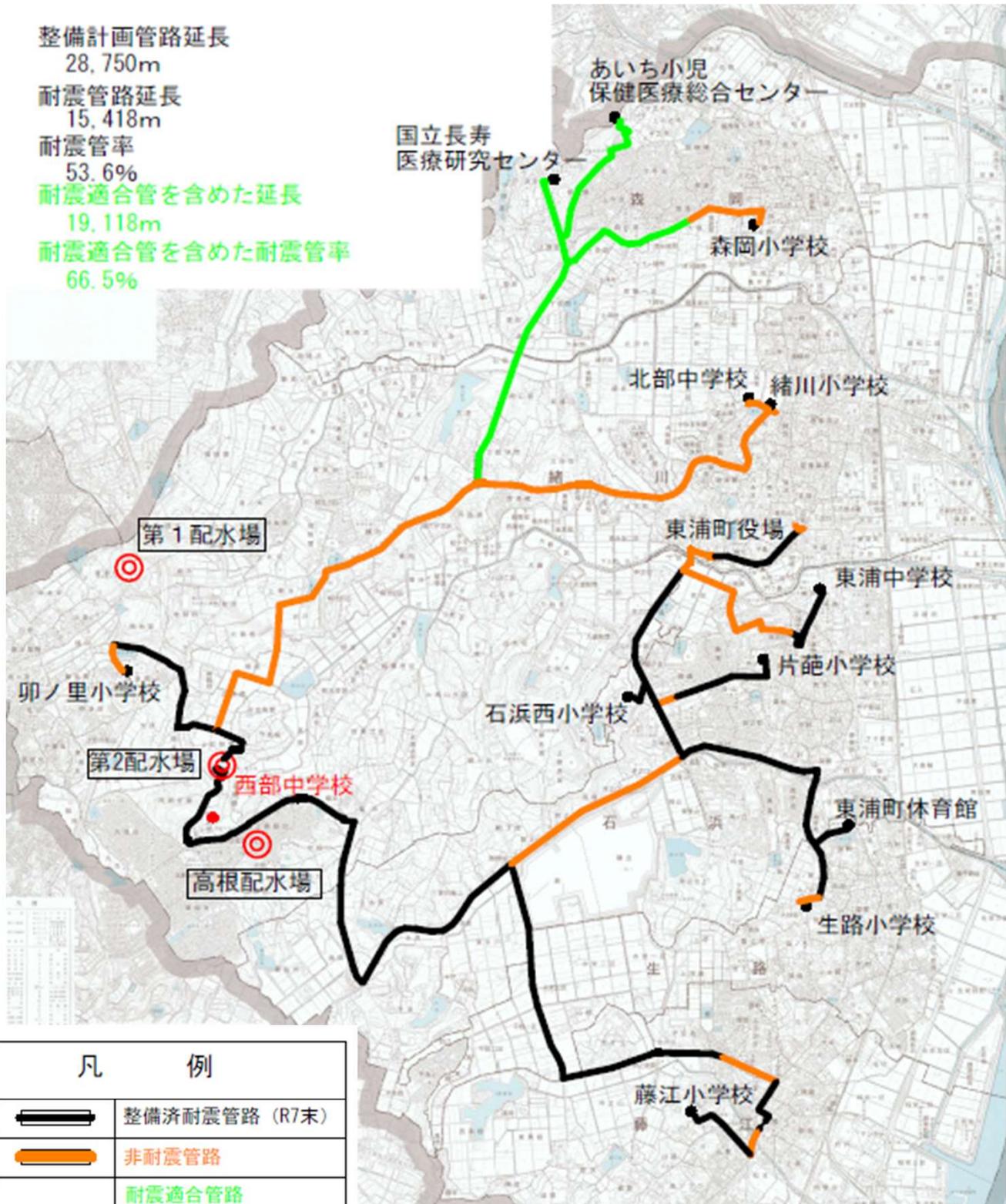
整備計画管路延長  
 28,750m

耐震管路延長  
 15,418m

耐震管率  
 53.6%

耐震適合管を含めた延長  
 19,118m

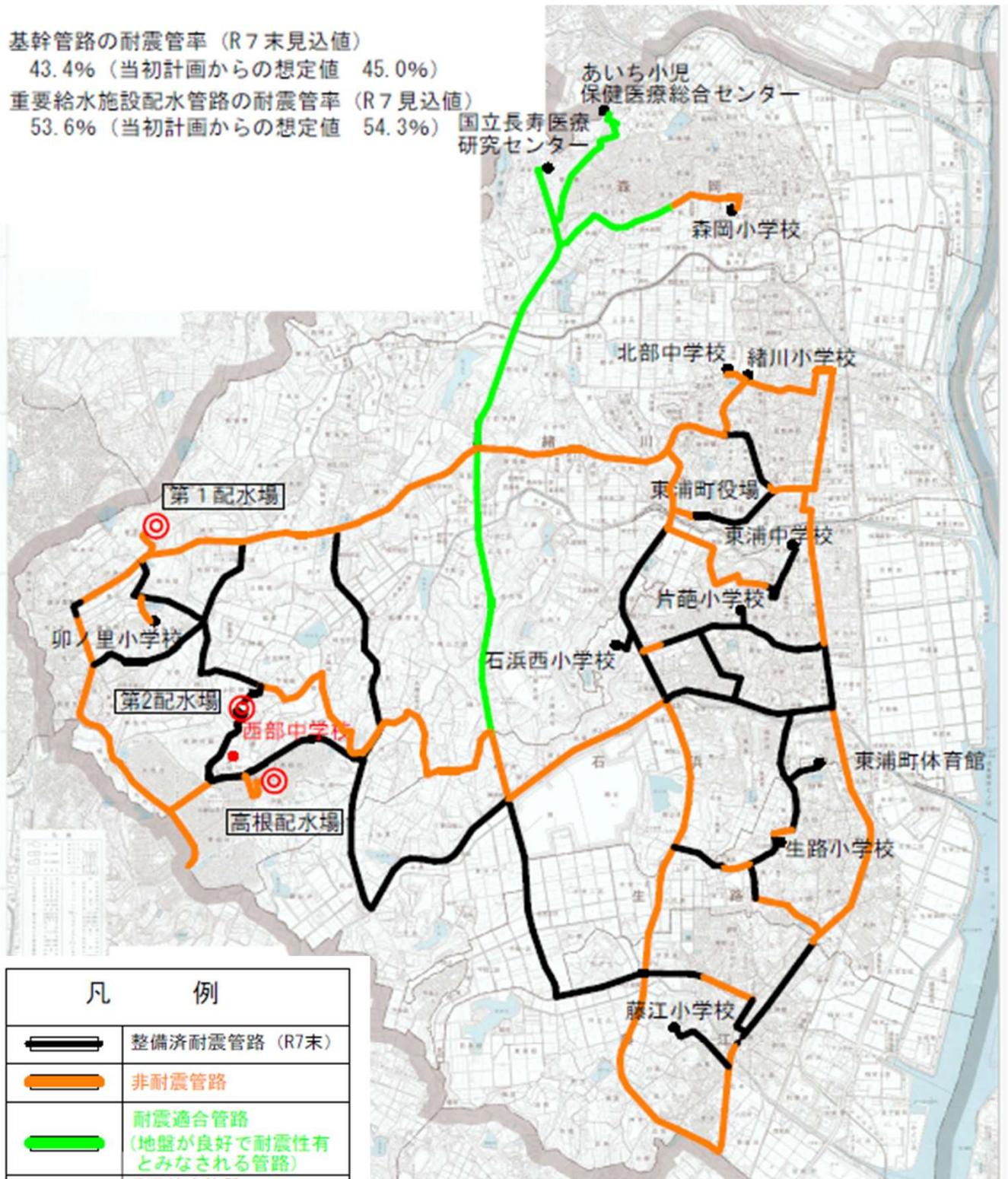
耐震適合管を含めた耐震管率  
 66.5%



凡 例	
	整備済耐震管路 (R7末)
	非耐震管路
	耐震適合管路 (地盤が良好で耐震性有とみなされる管路)
	重要給水施設 (管路耐震性有) 1施設
	重要給水施設 (管路非耐震) 13施設

(図③)  
 令和7年度末 整備計画図  
 (基幹・重要給水施設配水管路)

基幹管路の耐震管率 (R7末見込値)  
 43.4% (当初計画からの想定値 45.0%)  
 重要給水施設配水管路の耐震管率 (R7見込値)  
 53.6% (当初計画からの想定値 54.3%)

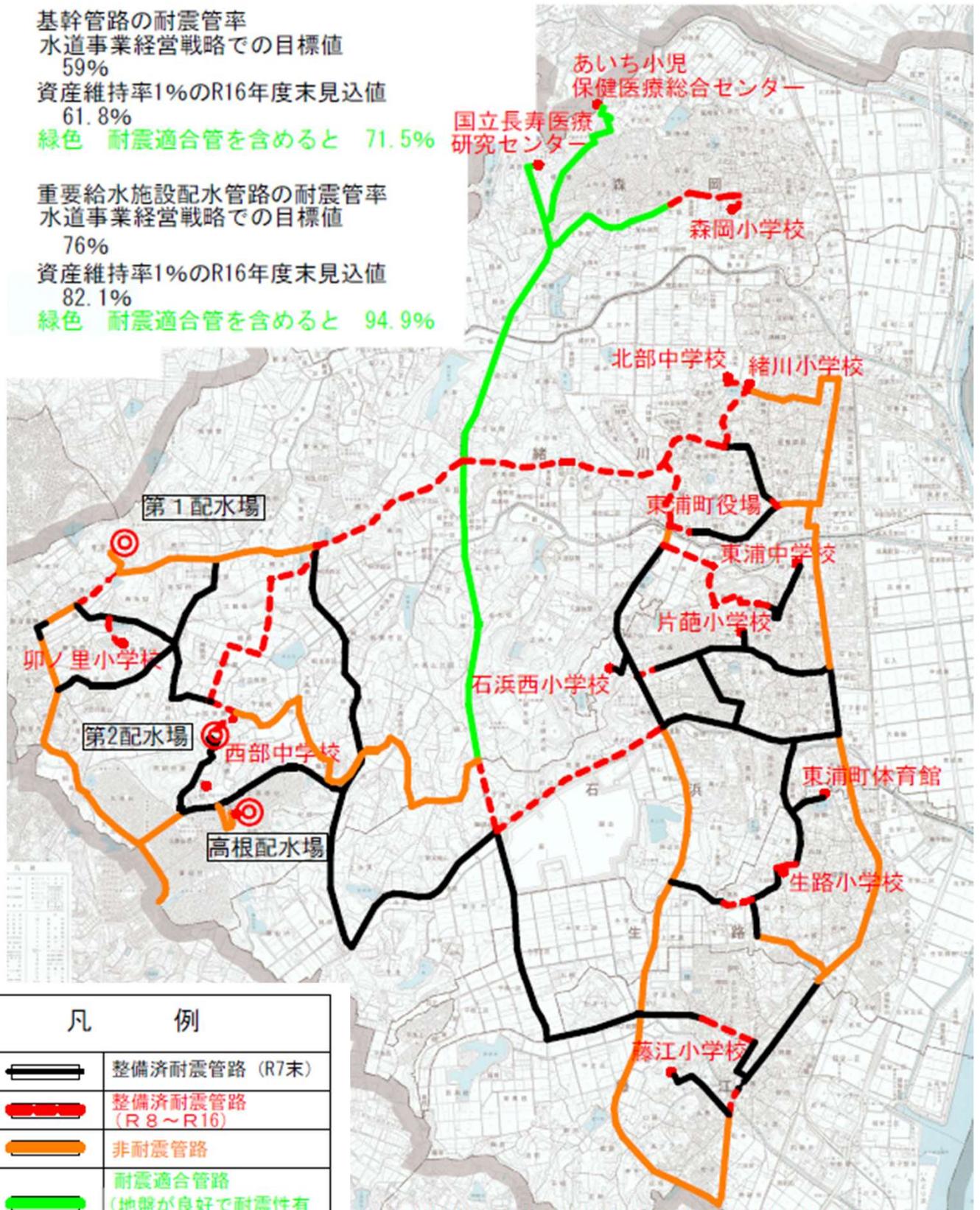


凡 例	
	整備済耐震管路 (R7末)
	非耐震管路
	耐震適合管路 (地盤が良好で耐震性有とみなされる管路)
	重要給水施設 (管路耐震性有) 1施設
	重要給水施設 (管路非耐震) 13施設

(図④)(資産維持率1%)  
 令和16年度末 整備計画図  
 (基幹・重要給水施設配水管路)

基幹管路の耐震管率  
 水道事業経営戦略での目標値  
 59%  
 資産維持率1%のR16年度末見込値  
 61.8%  
 緑色 耐震適合管を含めると 71.5%

重要給水施設配水管路の耐震管率  
 水道事業経営戦略での目標値  
 76%  
 資産維持率1%のR16年度末見込値  
 82.1%  
 緑色 耐震適合管を含めると 94.9%



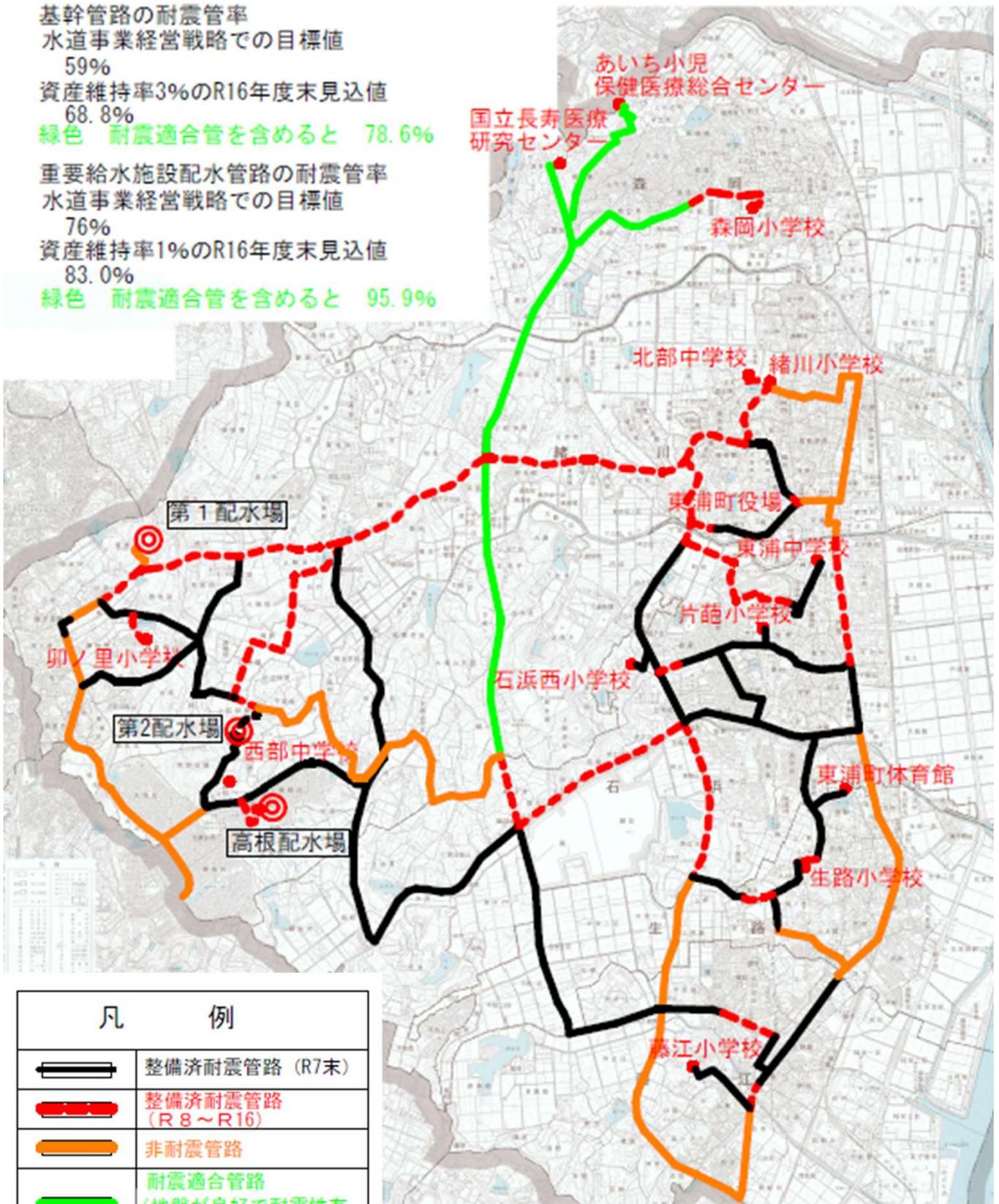
※整備計画は変更となる可能性があります。

凡 例	
	整備済耐震管路 (R7末)
	整備済耐震管路 (R8～R16)
	非耐震管路
	耐震適合管路 (地盤が良好で耐震性有とみなされる管路)
	重要給水施設 (管路耐震性有) 14施設

(図⑤)(資産維持率3%)  
 令和16年度末 整備計画図  
 (基幹・重要給水施設配水管路)

基幹管路の耐震管率  
 水道事業経営戦略での目標値  
 59%  
 資産維持率3%のR16年度末見込値  
 68.8%  
 緑色 耐震適合管を含めると 78.6%

重要給水施設配水管路の耐震管率  
 水道事業経営戦略での目標値  
 76%  
 資産維持率1%のR16年度末見込値  
 83.0%  
 緑色 耐震適合管を含めると 95.9%



凡 例	
	整備済耐震管路 (R7末)
	整備済耐震管路 (R8～R16)
	非耐震管路
	耐震適合管路 (地盤が良好で耐震性有とみなされる管路)
	重要給水施設 (管路耐震性有) 14施設

※整備計画は変更となる可能性があります。

## 資産維持率1%と3%の比較

### 水道事業ビジョンにおける耐震化の目標

- ・ 重要給水施設配水管路の耐震化(14箇所)
- ・ 第1配水場機能停止に向けた緒川地区への送水管の耐震化及びバイパス管
- ・ 県道阿久比線送水管の耐震化

### 目標に対する達成状況及び基幹管路の耐震化率

	水道事業ビジョンの目標とする重要給水施設配水管路の耐震化(14箇所)	第1配水場機能停止に向けた緒川地区への配水管の耐震化及びバイパス管	県道阿久比線配水管の耐震化	基幹管路の耐震化率	1年あたりの施工延長
資産維持率1%	達成	達成	達成	61.8%	1,100m
資産維持率3%	達成	達成	達成	68.8%	1,500m

### メリットとデメリット

#### メリット

- ・ 保育園、コミュニティセンター、集会所、消防施設等の重要給水施設の耐震化の促進が図られる。
- ・ 基幹管路の耐震化と管網整備の促進が図られる。

#### デメリット

- ・ 水道料金の負担増加